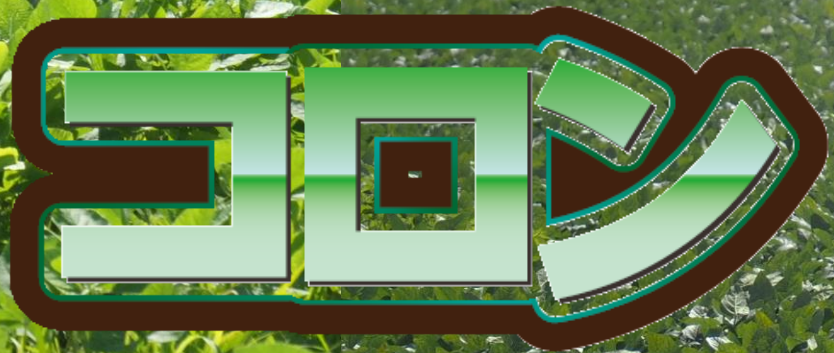


陸からも空からも散布可能！



次世代液肥



のご紹介

追肥すれば獲れるってわかってるけど…



梅雨時期はこんな圃場も…



追肥したくても
出来ない！！

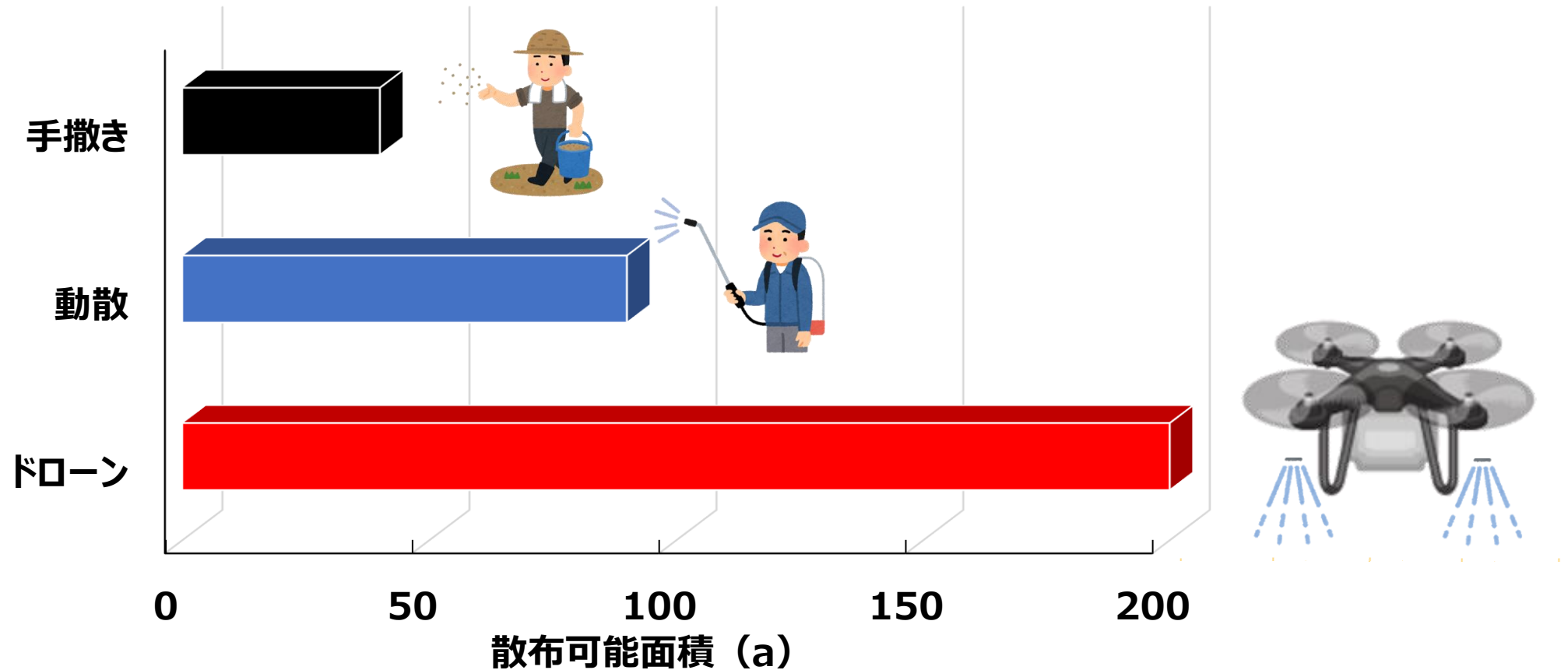
そのお悩み、



なら、解決できます！！

ドローンによる省力施肥

各施用方法ごとの1時間当たり散布可能面積



<課題>

ドローンのタンク容量に限りがある

→高濃度(低希釈倍率)散布可能な資材が不可欠

葉焼けを考慮すると、
現行の尿素液肥では対応できない…

今までの常識を変える！次世代液肥 **コロン** について



のスペック

TN	pH	比重
27.0%	10.0程度	1.28



液体洗剤のような
とろみのある液肥です！

資材の特長

希釈倍率2-5倍 (v/v) の超高濃度散布で、肥料焼けが発生しにくい
高濃度散布可、航空散布適合性がある次世代液肥です。

オススメの用途

- ① **コムギの開花期追肥(3-4月)**による収量、品質(タパク含量)向上
- ② **ダイズの開花期追肥(7-8月)**による収量、品質向上





のコムギへの利用

秋撒きコムギの栽培体系

月	旬	生育	主な作業
11	上	播種前	土改材施用 圃場耕起、 基肥施用 播種
	中	準備	
	下	播種	
12	上	出芽期	麦踏み
	中	幼苗期	
	下		
1	上	有効 分げつ期	土入れ、麦踏み、除草剤施用
	中		
	下		
2	上	無効 分げつ期	
	中		
	下		
3	上	穂発育期	麦踏み、除草剤施用 土入れ、 追肥(穂肥目的)
	中		
	下		
4	上	出穂期 開花期	赤さび病防除 追肥(実肥目的)
	中		
	下		
5	上	登熟期	
	中		
	下		
6	上	成熟期	適期収穫
	中		
	下		

通常の施肥体系

土改 11月上旬に石灰資材100kg/10a程度
 基肥 11月中下旬に6.0kgN/10a程度
 追肥 3月中下旬に3.0kgN/10a程度

+α

石灰窒素なら、
基肥+酸度矯正
+石灰補給が
一度でできる！

課題 分げつ、実肥目的の追肥は作業が難しい
 効果はあるが省力される傾向

新たな作業提案

分げつ期追肥 ⇒ 収量向上に直結
 開花期の追肥 ⇒ 収量、品質向上

高濃度の航空散布利用で、**省力的に追肥実施！**





のダイズへの利用

ダイズの一般的栽培体系

月	旬	生育	主な作業
5	上	土作り	排水対策
	中	排水対策	土壌改良
	下	播種期	耕起・畝立・ 施肥
6	発芽期		播種
6	中	草丈節数 増加期	除草剤施用
	下		中耕・除草
	7	花芽分化期	土寄せ
8	上	開花期	追肥
	中		畝間灌水
	下	莢伸長期	除草作業
9	上	子実 肥大期	排水対策
	中		
	下	黄色葉期	
10	上	成熟期	適期収穫
	中		
	下		

通常の施肥体系

土改 5月上中旬に石灰資材100kg/10a程度

基肥 5月下旬に3.0~4.0kgN/10a程度

課題

基本的にダイズの窒素施肥は1回だけ。
開花期追肥の施用効果は高いが施肥作業
ができない。

新たな作業提案

開花期追肥は、収量、品質を高める

高濃度の航空散布利用で、**省力的に追肥実施!**



散布後の様子
葉焼けしていない



ドローン散布

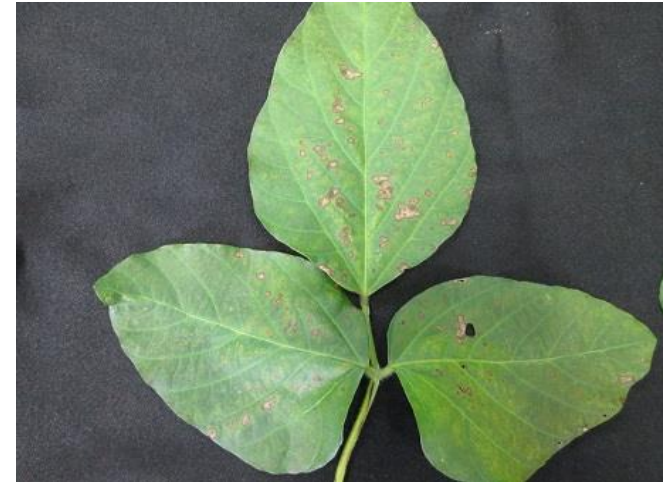
コロンのなら、大切な作物を焼かせません！！

尿素とコロンの窒素量を合わせて散布した比較（自社研究所：散布14日後）

尿素 TN14%



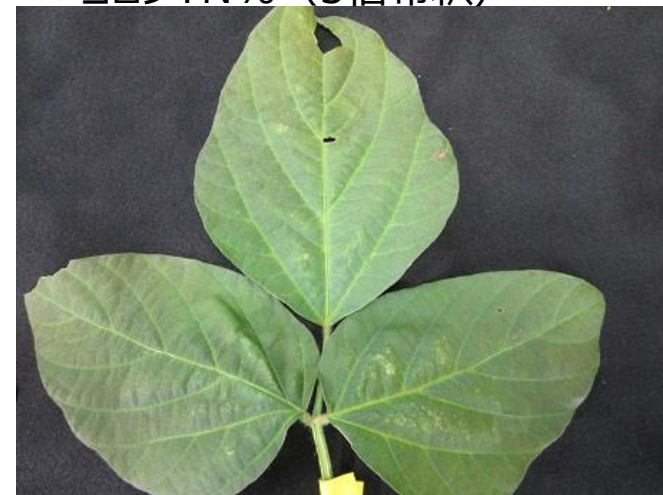
尿素 TN5.6%（8倍希釈）



コロンのTN14%（2倍希釈）



コロンのTN%（5倍希釈）



コムギに対するコロンの試験データ

<耕種概要>

供試作物：コムギ ‘ゆめかおり’

供試資材：コロン N 27% (試験区)
NK化成 N 17% (対照区)
無追肥区

資材施用：2020年4月28日

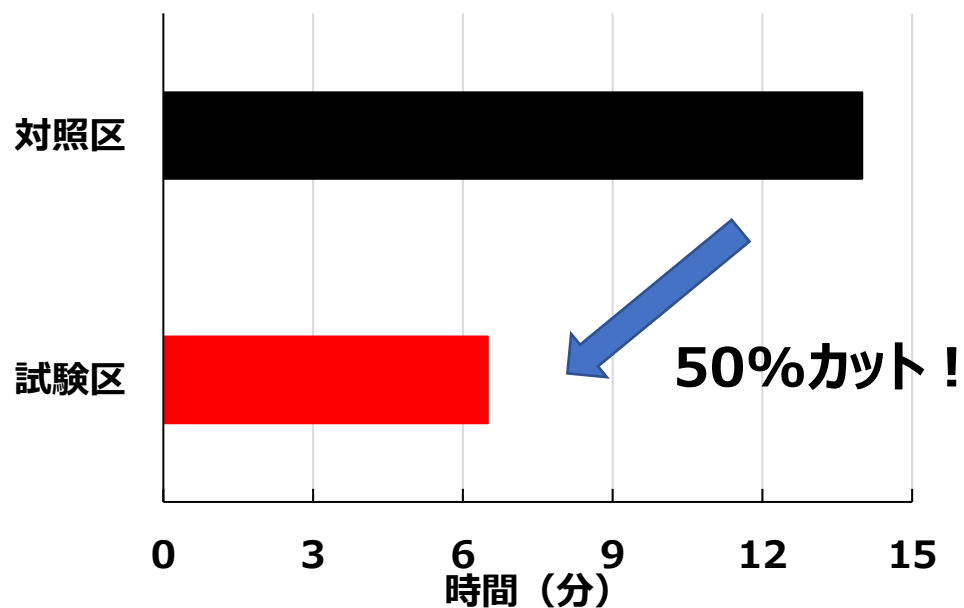
施用方法：試験区) ブームスプレーヤー (コロン単用)
対照区) 動力散布機
無処理) 資材散布なし

施用量：試験区 1.35kg-N/10a (約40倍希釈)
対照区 1.35kg-N/10a
無処理 0kg-N/10a

コムギに対するコロンの試験データ

収量結果

処理区	粗子実重 (kg/10a)	精子実重 (kg/10a)	千粒重 (g/100g)	穂数 (本/m ²)	タンパク (%)	容積重 (g/L)
試験区 (コロン)	528	515	39.6	593	12.2	795
対照区 (NK化成)	359	345	38.7	536	12.1	787
無処理	466	458	39.2	569	11.4	789



10aあたりの追肥に費やす時間

<作業面>

重い肥料を背負ったり、補充の作業もないため追肥作業の軽労化が叶った！

<生育面>

圃場間差や立ち枯れ病の発生が大きく、収量差が大きかったものの、試験区では、散布後葉色が長く保っていた。

ダイズに対するコロンの試験データ

＜耕種概要＞

供試作物：ダイズ

供試資材：コロン N27%（試験区）

パワフルグリーン2号 N10%（対照区）

資材施用時期：開花期

施用方法：試験区）ドローン

対照区）ドローン

施用量：試験区 1.7kg-N/10a（2倍希釈10ℓ/10a）

対照区 0.002kg-N/10a（500倍希釈10ℓ/10a）

ダイズに対するコロンの試験データ

収量結果

区分	莢数 (個/株)	空莢数 (個/株)	空莢率 (%)	粒重 (g/株)	収量 (kg/10a)
試験区 (コロン)	46.9 (135)	1.8 (113)	0.38 (83)	216 (127)	173 (127)
対照区 (N10%微量元素入り液肥)	34.8 (100)	1.6 (100)	0.46 (100)	170 (100)	136 (100)

コロン散布7日後の様子



追肥後も葉焼け確認されません！

**「コロン」×「ドローン」なら、
短時間で広範囲の作業が可能！**

更に！

**現行の液肥ではなしえない
「窒素2kg追肥」も可能！**

水稻に対するコロンの試験データ

<耕種概要>

供試作物： 水稻 ‘あさひの夢’

供試資材： コロン N27% (試験区)

追肥時期： 幼穂形成期

施用方法： 試験区) ドローン

慣行区) 無処理

施用量： 試験区 1.0kg-N/10a (2倍希釈液)

対照区 0kg-N/10a

ダイズに対するコロンの試験データ

収量調査結果

区分	籾重(kg)	粗玄米重(kg)	収量(kg/10a)	千粒重(g)
試験区(コロン)	794.6	644.9	623.9	21.9
	(108)	(108)	(106)	(103)
慣行区 (無処理)	738.5	597.3	586.6	21.3
	(100)	(100)	(100)	(100)

コロン散布7日後の様子



追肥後も葉焼け確認されません！

**幼穂形成期の追肥により、千粒重が増加。
半俵程度、増収効果が確認された。**

+ α

**登熟期の高温による後期栄養凋落
(登熟障害) 対策としても効果的！**



施用のおすすめ作物

ドローン散布

希釈倍率 2-5倍

・ 水稲 ・ 果樹

スプレーヤー散布等

希釈倍率 10-50倍

・ コムギ ・ ダイズ ・ 茶 ・ 果樹





散布の利用検討作物

各種灌水設備を利用して、お試しください

各散布機の希釈倍率10-50倍

各種野菜

キャベツ、ニンジン、玉葱、馬鈴薯、
長ネギ、ブロッコリー、カボチャ、
レタス、ホウレンソウ、コマツナ等

